

【セヴァンスズキ LOVE IS THE MOVEMENT in Tokyo 2.15】

2014.2.15

「経済成長の限界ー7世代先の子孫のためにー」

郭 洋春
立教大学経済学部
kaku@rikkyo.ac.jp

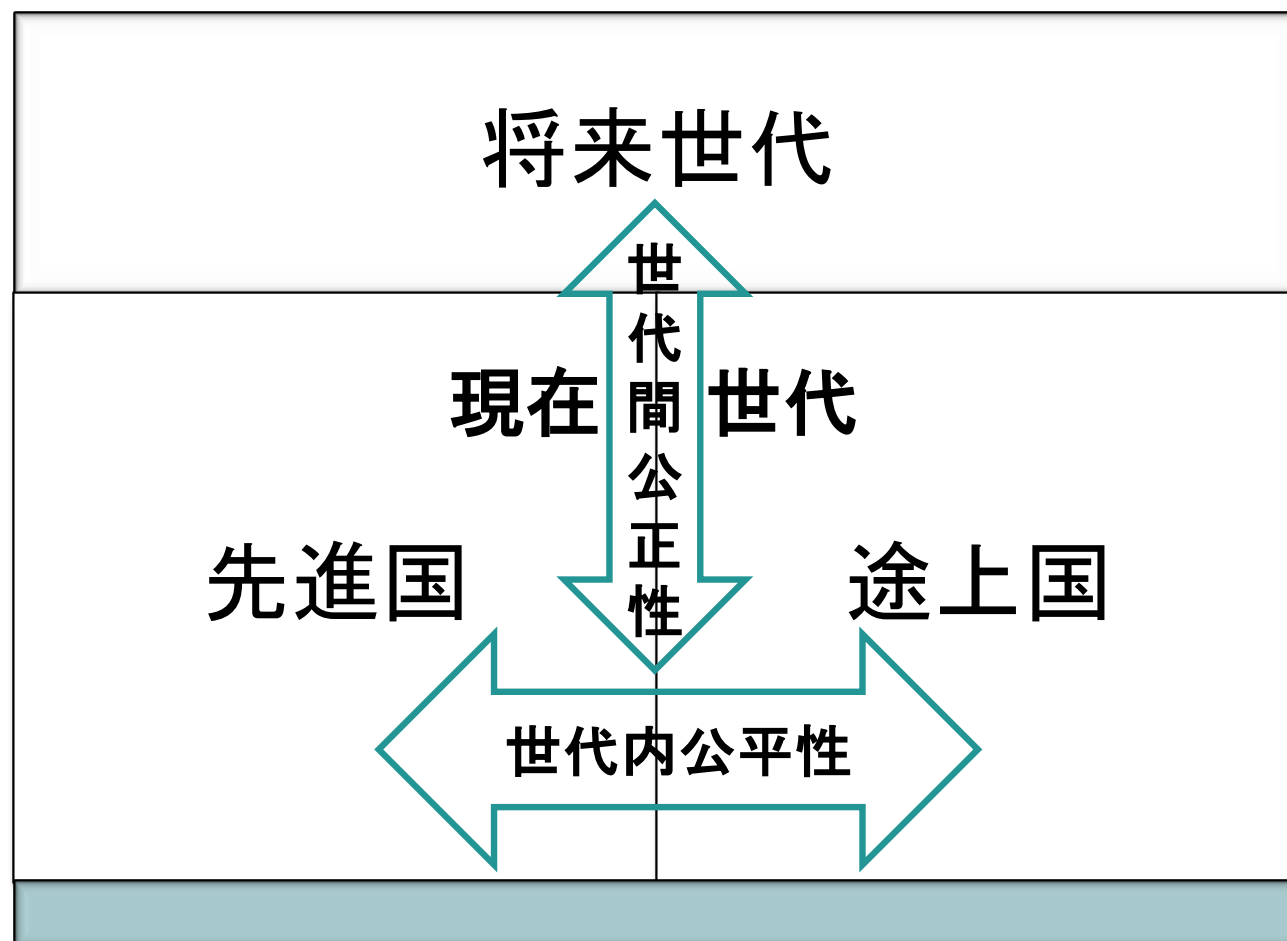
現代の経済成長の5つの幻想

- ①資源は**無限**であるという幻想
- ②自分たちの生活(環境)は**安全・安心**であるという幻想
- ③すべての国家は(経済)**成長**できるという幻想
- ④自らは**負け組にならない**という幻想



- ⑤世の中は**永続的に成長**するという幻想

「持続可能な開発」概念の課題



筆者作成

・世代間公平性(持続可能性)と世代内公平性(持続可能性)を同時に考えられない

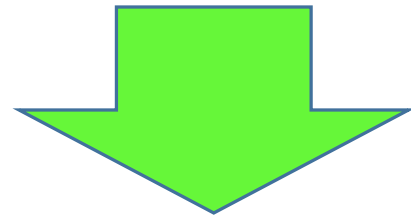


・いずれの課題も大き過ぎるため一緒には考えられない

・人間(社会)同士の公平性のみ焦点を当て人間と自然の公平性に焦点を当てていない

経済成長の限界とは

- ・ **現在の世代のこと**しか考えていない
- ・ **人間のこと**しか考えていない
- ・ 成長を **量を増やすこと**としか考えていない



関係性を見直しこそ社会を豊かにする

【所有から利用へ】【労働から活動へ】【信用から信頼へ】

新たな経済成長概念の確立⇒平和経済学

「七世代先の子供たちのために」

私たちのならわしでは、どの世代も七世代先のことを考えていなければなりません。西、北、東、南この四つの方角に向かうたび、「まだ見ぬ世代のことを考えた決断をなさい」という祖先の声が風に乗って聞こえてきます。

覚えておいてください、七世代前、私たちの祖父母は私たちのために祈ってくれていたのです。

私たちがまだ生まれていないにも関わらず。

もし祖先が、まだ生まれていない者のことを考えていなければ、私たちは今ここにいることはないでしょう。

私たちは、母なる地球は資源ではなく、生命の源であることを、すべての人々に伝えねばなりません。そうしなければ、私たちは破壊の力に飲み込まれてしまうでしょう。

ですから我々の世代は、すべての未来の世代を救うためにここに置かれました。

私たちは、まだ生まれていない生命に与えるポジティブとネガティブな影響を考えねばならない重大な分岐点に立っているのです。

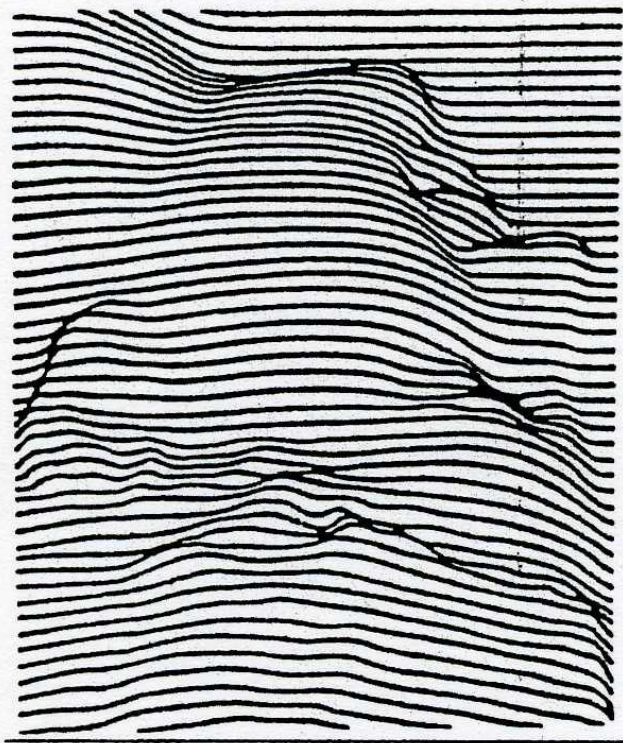
私たちは七世代先のために正しい選択をせねばなりません。それに残された時間は、わずかしかありません。

チーフ・アーボル・ルッキングホース
(スー族・ホワイトバッファロー・パイプ19代目守り人)

個人の力で世の中は変えられる？⇒重要なのは発想の転換である

図2-1 この中に何を見出すか？

(中川米造氏提供, 田原孝・他著:医学概論,
p67, 学校法人日本福祉大学, 2004 より)



【参考文献】

郭 洋春『TPP すぐそこにせまる亡国の罟』
三交社、2013年(本日受付にて販売中)

個人の力で世の中は変えられる？⇒重要なのは発想の転換である



【参考文献】

郭 洋春『TPP すぐそこにせまる亡国の罠』
三交社、2013年(本日受付にて販売中)